

小学1年から80代まで

磐清水地区をクリーンアップ

磐清水地区の環境美化活動(磐清水自治協議会主催)は9月3日、小学生や保護者、80代のお年寄りまで地区民約230人が参加して、沿道のごみ拾いや草刈り作業を行いました。

地区では毎年、9月の第1日曜日を「環境美化活動の日」に設定。公共施設周辺の環境整備に取り組み19年目になります。「スタートしたころ小学生だった児童も成長し、保護者として参加している。環境美化意識が地域内に浸透していると思う」と、参加者は汗をふきながらさわやかに話してくれました。



拾ったごみを分別する参加者

from SENMAYA
千厩



上
井大鼓同
志会によ
る「いわ
いばやし」
を飾った
ファイナ
ーレを飾
った磐
井大鼓同
志会によ
る「いわ
いばやし」
を飾った
ファイナ
ーレを飾
った磐

from ICHINOSEKI
一関

心奮い立つ太鼓の競演

いわて太鼓フェスティバル in 一関

新一関市の合併1周年を記念した「2006いわて太鼓フェスティバル in 一関」は9月10日、一関文化センター大ホールで行われました。

同フェスティバルには、県内から15団体延べ325人が出演。このうち市内からは花泉「沃野太鼓」、小梨創作太鼓の会「黄金太鼓」、げいび大獅子太鼓の会、時の太鼓顕彰会、そして両磐地区内の12団体で構成する磐井太鼓同志会が出演しました。

大人たちによる力強い太鼓や小中学生を主体とした若々しい太鼓、地域の伝承芸能活動として取り組む太鼓や新しい郷土芸能として創作された太鼓など、出演した各団体は実にバラエティ豊か。いずれもそりの衣装に身を固め、ばちさばきも鮮やかに日ごろの研さんの成果を熱演しました。また、青笹町しし踊り保存会(遠野市)や三本柳さんさ踊り保存会(盛岡市)は、太鼓ばやしに乗せて力強く華麗な舞を披露し、ステージを盛り上げました。

フェスティバルの大トリを務めた磐井太鼓同志会は、約100人により「いわいばやし」を合同演奏。ステージ狭しと並んだ大小の太鼓の奏でる勇壮な響きが1200人収容の大ホールの空間を揺るがし、満席の客席から大きな拍手が送られました。



from KAWASAKI
川崎

「ソーレ!ソーレ!」のかけ声にも力が入ります

水の上での熱き戦いに歓声

北上川流域交流Eポート大会

北上川流域交流Eポート大会は9月10日、北上大橋付近の北上川で行われました。79チームが参加し、往復約400mのコースでタイムトライアルにより競漕を楽しみました。

1レース目は、思う方向に進まず迷走する船あり、接触したり転覆する船ありと大波乱でしたが、さすがに2レース目には息のあったパドルさばきで大幅にタイムを縮めたチームが続出。藤沢町の「小日形ささきブラザーズ」が混戦を制し初優勝しました。大会の運営は地元中学生をはじめとする多くのボランティアに支えられ、名実ともに交流が深められました。

地域で菅公夫人をしのぶ

菅公夫人の墓壱千百年大祭後年祭

学問の神様で知られる菅原道真公夫人吉祥女の墓と伝わる田河津字竹沢の「菅公夫人の墓」で9月10日、同夫人御神忌1100年大祭後年祭が行われました。

この祭りは、昨年の大祭の締め行事として行われ、竹沢地区をはじめ約120人が参加。竹沢子ども会による献膳行列、神事に続き、竹沢地区の風景を描いた「とりのやんせ通り」の絵画8枚が奉納披露され、二胡奏者陳為さんが演奏。大宰府天満宮文化研究所の主管学芸員味酒安則さんが講演しました。

祝賀会では地域の人たちが舞踊や唄などを上演。手作りの五色餅を味わいながら後年祭を楽しみました。



初穂や野菜、果物といった献膳を運ぶ児童たち

from HIGASHIYAMA
東山



仙台市役所前市民広場で演奏する大原中吹奏楽部

ジャズフェスタを体感

大原中吹奏楽部が出演

大原中吹奏楽部「オオハラジュニアハイスクールウィンドアンサンブル」(菊池純子部長・部員16人)は9月9日、仙台市で催された「定禅寺ストリートジャズフェスティバル in 仙台2006」に出演しました。

今年と同フェスティバルには、中学生グループは大原中を含めて2グループが出演。初日の市役所前市民広場の最初の演奏ということで、部員たちは緊張していましたが、演奏が終わるたびに大きな拍手がわき起こると、みんな笑顔で応え、初の大舞台に感無量の様子でした。

from DAITO
大東

冒険、そして友を得た夏

吉川市へホームステイ

埼玉県吉川市へのホームステイ交流事業は8月18日から3泊4日の日程で行われ、室根の子どもたち3人が吉川市を訪れました。これまで、春は室根から吉川市へ、夏は吉川市から室根を訪れる形で行われていたホームステイを、夏に相互にホームステイを行う形に改めて行われました。

初めて関東の夏を体験した子どもたちは、暑い中色々なスポットに連れて行ってもらい、友達との交流を深めていました。参加した3人のうち2人は2回目のホームステイで、前回の春と比べて夏の方が良かったとの感想も聞かれました。



from MURONE
室根

楽しかったホームステイの感想を小山自治区長に話す子どもたち

from HANAIZUMI
花泉



山頂で登頂を喜び合う参加者

福島県一切経山に登頂

市民登山に50人参加

花泉地域市民登山実行委員会と市教育委員会が主催する第32回市民登山は9月10日、行われました。福島県の吾妻連峰に抱かれ、現在も噴煙を上げる活火山の一切経山(標高1949m)を目指しました。

一行は、海拔が栗駒山頂ほどもある浄土平から登山を開始。初秋の気配を感じながら火山礫に覆われたちょっときついコースを全員で踏破。山頂から望む数々の名山、「吾妻の瞳」や「魔女の瞳」と呼ばれる五色沼の美しさに感動し、登山の醍醐味を味わいました。下山後は、高湯温泉でゆっくりと汗を流しました。